



初等部だより夏休み号

鎌倉女子大学初等部

平成30年7月20日

第5号

子どもの安全を守る

部長代理 勝木 茂

早いもので本年度も三分の一が過ぎ、本日第一学期の終業式を行いました。4月6日の始業式、9日の入学式から3か月と少しが経ち、子どもたちはそれぞれ大きく成長したと思います。特に一年生は、入学直後とは全く違うしっかりとした顔つきとなり、その成長は、驚きと共にわたしたち職員を嬉しい気持ちにさせてくれます。

さて、明日より夏休みがはじまります。夏休みは、普段の初等部での生活とは異なり、家庭での生活が中心となります。生活リズムが乱れないようご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。また、夏休みは普段は体験できない様々なことにチャレンジする絶好の機会でもあります。健康・安全を第一とし、すべての子どもたちにとって充実した夏休みとなるようよろしくお願いいたします。

7月5日（木）保護者会全体会時に、セコム株式会社 舟生岳夫氏による「子どもたちの登下校時をはじめとする安全対策等」についての講演会を実施いたしました。

講演の中では、例えば「知らない人」とはどんな人か、保護者がお子さんに具体的に説明しないと、保護者の考えている「知らない人」と子どもが考えている「知らない人」との認識が違う場合があるとか、子どもとすぐに連絡が取れるから防犯対策として持たせている携帯電話やスマホが原因で、思わぬトラブルに巻き込まれる危険性があるなど、具体的な防犯・安全対策についてのお話がたくさんありました。

また、7月10日（火）4時間目には、5・6年生を対象に神奈川県警による出前授業「インターネット及びスマホ・携帯電話の使い方について」を実施いたしました。この授業の中では、「マナーを守ろう」「人を傷つけないか送信前に見直そう」「個人情報（写真を含む）を載せない、送らない」「ネットで知り合った人と直接会わない」「使いすぎないようにけじめをつけて」

※括弧内=文部科学省「スマホ時代のキミたちへ」から抜粋の「ちょっと待って！の5か条」について県警の方より具体的なお話がありました。



わたしは、いずれの講演や出前授業においても大切なのは、「日常的な親子の会話と信頼関係」だと強く感じました。お子さんの安全を守るために必要なことは、今、ご自身のお子さんがどのような状況にあるのかを正しく把握することがその基本だと思います。そのためには、日頃より親子の良好なコミュニケーションをもとにした信頼関係づくりが欠かせません。日頃の何気ない会話から親子の信頼関係が深まることはよくあることです。親として、お子さんに聞きたいことを聞くのもよいですが、それだけではなく、大切なのは、お子さんの話（お子さんが話したいこと）をしっかりと聴くということだと思います。（このことは教師も同様です。）親子での様々な会話に夏休みの期間はよい機会でもあります。

安全のための5項目

- ①日常生活では、人通りの少ない道は極力避け、なるべく明るい道を利用する
- ②不審な人や物を見かけたら、すぐに近くの人や初等部、警察に知らせる。
- ③知らない人に誘われたり、車やバイクに乗るように誘われても拒否する。
- ④危険なことに出会ったら、大声で助けを求めたり、すばやく、防犯ブザー等を鳴らす。
- ⑤お子様の帰宅時間、同行者、行き先等の確認をするとともに、習い事や塾帰りなどの連絡方法を明確にすることなど安全指導を強化する。

夏休み期間中、すべての子どもたちが元気で安全に過ごし、無事に二学期の始業式が迎えられますようよろしくお願いいたします。